

朝晩めっきり涼しくなりました。子供たちは、スポーツフェスティバルに向けて、がんばっています。

スポーツ・フェスティバル

今年の運動会も、コロナ対策のために、規模を縮小し、スポーツ・フェスティバルという形で、学習の成果を披露します。

そろそろ、練習も本格的になってきました。

一輪車に初めて挑戦する、なぎさの家の子供たちも、吏玖さんも、夏休みに一輪車を練習してきました。その成果が、集団演技や一人乗りにつながってきています。半年前には、何かにつかまらなさと乗ることができなかった子供たちが、今、すいすいとこぎ、空中乗りをしたり、みんなと調子を合わせて曲芸乗りをしています。すごい上達ぶりです。



この上達の陰には、中休みや昼休みに、「一輪車しよう」と声をかけ合う姿がありました。千紘さんが、お手本を見せてくれました。また、なかなか一輪車に乗ることができない友達に対して、「がんばれ」と励まし、少しでも乗ることができたら「すごい」と、努力をたたえる姿がありました。

一輪車の練習は、単に「一輪車に乗る」だけではなく、子供たちが「つながる」取組になっています。

スポーツ・フェスティバルまで、残り一か月。子供たちは、どこまでその技を高め、つながりを深めていくか、とても楽しみです。

三線の練習

三線の練習も本格的に始まりました。コロナのためにゲスト・ティチャーの比嘉さんが島に渡れない中、地島小で、最も三線を弾くことができるのは千紘さんです。千紘さんを見つめる、みんなの真剣な眼差し。コロナが落ち着けば、比嘉さんも島に来ることができます。それまでに自分たちで少しでも上達しておきたいと考えています。

例年、三学期の文化祭で三線の演奏を発表しています。楽しみにお待ちください。



高齢者疑似体験

福祉教育の取組として4年生が高齢者疑似体験学習を行いました。

高齢者疑似体験学習は、高齢になると運動機能や感覚機能がどうなるのかを体験することを通して、高齢者の日常生活の困り感を味わい、自分たちの行動を考える学習です。疑似体験用のグッズは、宗像市の福祉協議会から借りてきました。



耳当て、ゴーグル、おもりが入ったベストやズボン、軍手等を身に付けます。危険防止のための補助の子供もつきます。



階段をのぼる、記事を読むなど、さまざまな生活行動を実際に行いました。そこには、想像以上の困難さがあったようです。この体験をもとに、高齢者とともに生きる自分の在り方を探っていきます。

お誕生日給食

8月9日のお誕生日給食を、給食委員会の子供たちが企画・運営してくれました。

今回は、教師3人が誕生日を迎えました。ALTのプライト先生は、地島小学校が、毎月、このような会を開いていることを知らなかったので、特に喜んでいました。

子供たちからの手作りのバースデイカードをも心温まるものでした。



On Lineでつながろう

9月24日(金)から、タブレットを毎日持ち帰るようにしました。子供たちは、ドキドキしながら、接続したと思います。全員、つながることができました。これからの家庭学習の在り方も、少しずつ変わっていくことだと思います。

